

令和7年3月28日

各位

会社名 株式会社アイビー化粧品
代表者名 代表取締役社長 白銀 浩二
(コード番号 4918 東証スタンダード)
問合せ先 取締役 経営管理部 部長
役職・氏名 中山 聖仁
電話 03-6880-1201

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、令和6年9月24日に公表致しました業績予想を、下記の通り修正致しましたので、お知らせ致します。

記

令和7年3月期 通期業績予想数値の修正(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	2,900	450	450	80	9.32
今回発表予想(B)	3,000	460	460	80	9.32
増減額(B-A)	100	10	10	0	
増減率(%)	3.4	2.2	2.2	0.0	
(ご参考)前期実績 (令和6年3月期通 期)	2,713	187	187	160	26.14

修正の理由

売上高の足元の推移は、新製品「ベーシックプラス」が想定以上に好調に推移し、当初想定売上高 240 百万円(約4万セット)に対し、約 360 百万円(約 6 万セット超)になりそうな状況です。(ご参考;令和7年1月27日開示資料「新製品発売および売上高等への影響に関するお知らせ」)

一方、強化製品「ホワイトパワーセラム」は、当初想定年間出荷数 12,000 セットに対し、約 10,700 セットと弱含みの推移です。例年秋口に主に注文のある「レッドパワーセラム」は追加注文が入っており、年間出荷数約 17,900 セットを超える状況になってきました。販売会社の在庫も少なくなっていることから、レギュラー製品も堅調に推移しております。

今期は、コロナ禍の影響で低調だった研修動員数も増加傾向で推移しており、新たに投入した新製品「ベーシックプラス」による愛用者づくりも順調に進むと考えております。

売上原価につきましては、2月および3月に原価率の高い製品が多く出ていることから、想定よりも売上原価率が高く推移しております。

販売費及び一般管理費については、固定費の削減が順調に進んでおり、営業利益および経常利益が出やすい構造になってきており、営業利益の MSR(安全余裕率)は 20%を超え、売上高経常利益率も約 15%になると考えております。

以上の状況を踏まえ、令和7年3月期通期予想につきましては、売上高予想を2,900百万円から3,000百万円に修正致します。また、営業利益予想450百万円を460百万円に、経常利益予想450百万円も460百万円に修正致します。当期純利益予想につきましては、80百万円の予想を据え置きます。

(将来に関する記述等についての注意点)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上